

博物館だより

国指定史跡・甲斐金山遺跡／湯之奥・中山金山 甲斐黄金村・湯之奥金山博物館報



教育旅行の利用再開!館に子供たちの声と笑顔が帰ってきました!

8月10日～9月12日までの約一か月間、山梨県感染症拡大防止特別措置による臨時休館で、当館は静かな夏でしたが、休館明け再開と同時に、遠足、修学旅行などなど…校外学習の場として、多くの学校にご来館いただき、この秋、館内に子どもたちの声と笑顔が戻ってきました。

資料展示室で戦国期の鉱山作業について学び、砂金採り体験室で楽しみながら比重選鉱の理論を学ぶ。内容、時間配分など各校のニーズに合わせた案内に、多くの先生方から大変ご好評をいただいています。

たくさんのおともだちが来てくれています! (9～10月)

韮崎東中、竜王北中、奥野田小、玉宮小、神金小、日川小、山城小、新紺屋小、松里小、国母小、笛川小、甲府市立東小、相川小、玉穂中、日坂小(掛川市)、飛龍高(沼津市)、小淵沢中(来校順)

《金山博物館の周辺から話題をひろって・5》

下山の煙硝蔵跡のこと— 第10回いでさんぼの成果から—

甲斐黄金村・湯之奥金山博物館 館長 出月洋文

本誌第88号(令和元年6月刊)の館長コラムの冒頭に「この5月に元号が改まり、そこはかとなく新時代感がただよっているなかで、湯之奥金山博物館においてもいくつかの新しい試みを実施に移してきて」いるものの1つに「いでさんぼ」という企画がスタートしたということが書き残されています。

同時に始めた館長講座(当館の所在する峡南地域の歴史を考古学的なアプローチから掘り下げていく90分の座学)と併行するいでさんぼは、フィールドに出て現地を注意深く観察することで、金山跡を含めた博物館周辺の地域の歴史の広がりや奥行きなどを確かめ、味わっていこうとするものです。そうした位置づけから参加者は、地元町民の皆さんが中心で、リピーターも多く、この9月18日の開催で10回を数えるまでになってきています(原則、隔月開催)。

今回の話題は、その第10回のメインテーマとなった富士川クラフトパークの中の“下山の煙硝蔵跡”を取り上げます。

まず煙硝蔵とは何か、についてですが、わが国の中世に起こった一大変革の1つとして、「鉄砲の伝来」があげられます。それまでの刀と槍、弓といった伝統的な武具での戦いが主流であったこの戦国時代の権力闘争の在り方を

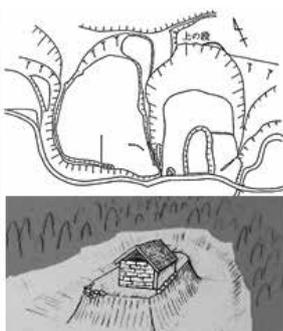
ガラッと変えたことでよく知られています。その戦国の乱世も、織田信長～豊臣秀吉～徳川家康という流れで天下統一が進んでいったことは、教科書でも習いましたが、その最初のうねりを創り出した織田信長をいちやく天下人たらしめた背景の1つに、鉄砲隊の整備がいられています。1543年に種子島(鹿児島県)に流れ着いた南蛮貿易の船がもたらした鉄砲は、その後急速に国産化が進み、16世紀の後半には時代を左右する存在にまでなってきたのです。その鉄砲を発射させる火力の材料が煙硝で、これを防湿、誘爆などからの危険排除などを盛り込んだ保管庫(火薬庫)が近代以前には煙硝蔵と呼ばれていました。

町内の戦国の歴史を伝える下山の地にあったというその煙硝蔵の跡を訪ねる第10回いでさんぼは、数日前から台風14号の接近の影響による小雨降る中での実施となりました。また、まだ新型コロナウイルス蔓延に対する警戒が薄くなる傾向ながら完全には解けていない段階でしたので、見学対象のある富士川クラフトパークの駐車場に直接集合の形をとりました。

富士川クラフトパークは県立の都市公園の1つで、煙硝蔵跡は、その広い園内の北寄りを流れる下山北沢川が解析した小溪谷の中にあ



現地説明板と一部拡大



遺構概念図(中央上)
(「山梨県の中世城館跡」より)



現況と重ねた推定状況
(県埋文センターHPより、一部加筆)

ります。谷中に形成された小段丘の上に遺構と推定されるものが、公園建設の中で整備されているのです。

1986（昭和61）年刊の『山梨県の中世城館跡』（県教育委員会刊）に、「下山の集落の北側を流れる北沢川が山間に入る付近に「煙硝蔵跡」と呼ばれるところがあり、穴山氏の時代のものと伝えられている」と見え、要図（遺構概念図）も掲載されていました。同年刊の『山梨県歴史の道調査報告書』—第7集河内路西郡路一所収の下山の絵図の中にも「えんしょう蔵」の表記があることが知られています。

しかしながら、現地は長らく十分な周知が進まないまま、1990年代から段階的にクラフトパークの公園整備事業が進んでいく過程で、いまのアクセス道路の一部である煙硝倉橋の直下に、そうした遺構があることが指摘され、事業の中では急遽、遺構の表示と説明板の設置が進められた経緯がありました。これについて少々苦い思い出がありまして、当時、県の文化財保護の

担当席にいた者として、十分な保護対応をとれなかったこと、地元の学識者（加藤為夫先生だったと記憶してます）のご指摘に対し最低限のことしかできなかつたことが悔やまれるのです。

その後も県埋蔵文化財センターの普及啓発資料（HPなど）に紹介はされるものの、文化財指定もなく、いまは残念ながら注目が薄れてしまい、訪れる人もほとんど無いまま草に埋もれた状態になっています。

今年「信玄生誕500年」の記念事業として様々な当時の歴史の振り返りがなされていることを受け、甲斐守護武田氏の下で当地を治めていた穴山氏の本拠から目と鼻の先にあるこの煙硝蔵跡に大きな関心を寄せていく必要を感じたのが今回のイベント開催に通じたものです。天候の加減もあって参加者は10名たらずでしたが、口々にいつも来ている公園の中にこんな重要な遺跡があったことなんてまったく知らなかったとの感想をもらされていたのが心に残るものとなりました。

いでさんぽ～下山・クラフトパークに煙硝蔵跡をたずねる

9月18日（土）

幾度となく延期となり感染症拡大防止自粛要請の解除後に開催した、通算10回目のいでさんぽ。この日は台風の影響による雨の中ではありませんでしたが、事前検討を十分に重ねた上で安全であるという判断の上で開催の運びとなりました。

今回の目的地は博物館から車でほど近い「富士川クラフトパーク（道の駅みのぶ）」。クラフトパーク敷地内には歴史を知ることのできるポイントがいくつかありますが、そのひとつが

戦国時代末の火薬庫「煙硝蔵」の跡。もうひとつは、「鈍斎翁の石碑」。もとの舞鶴城公園から移されたこのレリーフのついた大きな石碑には、よくよく見ると碑面が硯の形になっているなど様々な意匠が施されています。参加者からは、「いつも来ている公園のなかに、こんなところがあったなんて知らなかった」「天気の良い日に友達とまた来たい」などの感想が聞かれました。雨の中ではありませんでしたが、雨ゆえに特に印象深いものとなったのではないのでしょうか。

これからの 館長講座&「いでさんぽ」 は・・・

第21回 館長講座 ～シリーズ峽南の考古学

「ある曼荼羅に秘められた江戸初期の動向を探る」

日時：2021年**11月28日**（日）13時30分～

第12回 いでさんぽ

2022年1月開催予定

※今後の開催予定や詳細は、決定し次第、博物館HP等でお知らせします。

活動報告

砂金掘り大会ミニ2021

7月24日(土) 午前

今年も感染症拡大の影響から縮小や中止を余儀なくされた各地の夏イベント。当館名物「砂金掘り大会」も例に漏れず影響を大きく受けました。定員を例年の半分、さらに1日目が一般大会、2日目に砂金甲子園という通常2日間の予定を、午前に一般大会、午後に砂金甲子園というミニ大会としましたが、万全の感染症対策のもと、多くの砂金掘りファンに楽しんでいただくことができました。

決められた重さの砂の中からどれだけスピーディに、砂金を落とさず採るかを競うスポーツ砂金採り。一般大会の参加者約100名で、ジュニアの部（小中学生）、男女一般の部（高校生以上）の2部門で競いました。今大会最年少は身延町内から小学1年生の男の子。倍以上も

年が離れているお兄さんやお姉さんたちに負けない勢いで善戦しました。そんな一般部門の結果は次頁のとおり。常連ベテラン勢を退ける若いパワーが目立つ結果となりました。



ジュニア1位：佐藤友哉（中2） 2位：三宅敦士（中2） 3位：赤星志得（中3）
男女一般1位：遠藤準也（高1） 2位：桑形和樹 3位：宇野慎介

砂金掘り大会ミニ2021

7月24日(土) 午後



午後の「砂金甲子園」では、山梨学院、灘、開成、桐朋、市川学園の5校の中高生が参加。バケツリレー形式の団体戦と、各校の代表5名で競う個人戦の得点制で、総合成績は、団体戦と個人戦、それぞれの得点を合わせて順位が決定します。市川学園も初参加ながら善戦しました。

年々レベルの上がる砂金甲子園。今回も各校パンニングの腕は拮抗し、最終的に桐朋と灘が同率1位となりましたが、団体戦のタイムが早かった桐朋に軍配が上がり、砂金甲子園の結果は次のようになりました。

コロナ禍でのミニ大会となりましたが、本大

会と変わらない賑わいと大きな盛り上がりとなりました。



優勝の桐朋学園

優勝：桐朋学園
準優勝：灘
第3位：山梨学院
4位：市川学園
5位：開成学園

男女一般予選(14粒)

順位	氏名	成績		総合成績	順位	氏名	成績		総合成績	順位	氏名	成績		総合成績
		時間	採取粒				時間	採取粒				時間	採取粒	
1	近藤 直美	4.27	14	4.27	25	大城 威智	6.13	10	18.13	49	中村 義則	9.04	8	27.04
2	仁木 創太	7.00	14	7.00	26	山下 将広	6.53	10	18.53	50	三橋 琉人	9.09	8	27.09
3	江藤 憲一	4.54	13	7.54	27	長谷部 翔	3.58	9	18.58	51	木内保太郎	8.13	7	29.13
4	長谷部吉昭	8.17	14	8.17	28	宮本 堯	4.42	9	19.42	52	小森 湧真	8.35	7	29.35
5	遠藤 準也	5.42	13	8.42	29	成島 秀樹	7.59	10	19.59	53	米内 結都	9.17	7	30.17
6	戸田 智仁	6.38	13	9.38	30	福田 匡宏	8.21	10	20.21	54	石上 遼	9.17	7	30.17
7	稲田 孟	4.01	12	10.01	31	中田 光軌	8.36	10	20.36	55	依田 貴司	3.52	5	30.52
8	内藤 秀明	7.12	13	10.12	32	渡辺 清人	5.45	9	20.45	56	永井 友和	2.49	4	32.49
9	宇野 慎介	7.29	13	10.29	33	広瀬 義朗	2.52	8	20.52	57	岡田健太郎	6.03	5	33.03
10	桑形 和樹	7.39	13	10.39	34	亀岡 竜司	9.08	10	21.08	58	本間 純	3.41	4	33.41
11	吹春 快哉	5.16	12	11.16	35	宮坂 隆志	6.38	9	21.38	59	小澤 侑玖	3.55	4	33.55
12	真田 兼行	5.53	12	11.53	36	若月 章弘	4.08	8	22.08	60	久保 綾佑	4.35	4	34.35
13	中山 元昭	6.03	12	12.03	37	玉井 春希	4.10	8	22.10	61	乾 大介	5.15	2	41.15
14	岡本 康司	4.09	11	13.09	38	福原 春輔	4.16	8	22.16	62	豊田 優雅	9.09	3	42.09
15	大森 俊英	4.35	11	13.35	39	鶴岡 寛	7.28	9	22.28	63	相澤 晴希	6.19	2	42.19
16	金子 和由	4.40	11	13.40	40	野村 敏郎	4.37	8	22.37	64	内田 吉郎	7.02	2	43.02
17	井村 智子	4.49	11	13.49	41	植野 祐大	8.16	9	23.16	65	江藤 恭子	8.33	2	44.33
18	塚原 大輝	8.05	12	14.05	42	對馬 空快	5.48	8	23.48	66	竹市 悠真	8.48	2	44.48
19	小久保太凱	8.31	12	14.31	43	石田 政明	3.05	7	24.05	67	大日向諒亮	8.54	1	47.54
20	木村 伸之	4.37	10	16.37	44	安藤 大悟	6.21	8	24.21	68	秋山耀太郎	9.20	0	51.20
21	豊國 浩史	5.02	10	17.02	45	錢谷 清人	7.17	8	25.17	69	岡本 諒也	9.20	0	51.20
22	富田 雄介	5.42	10	17.42	46	岩井 一泰	5.09	7	26.09	70	関川 拓真	9.20	0	51.20
23	佐藤 瑞己	8.57	11	17.57	47	坂保 信一	5.21	7	26.21					
24	中村 仁紀	9.08	11	18.08	48	はせへまりこ	8.59	8	26.59					

ジュニア部門(9粒)

順位	氏名	成績		総合成績	順位	氏名	成績		総合成績
		時間	採取粒				時間	採取粒	
1	佐藤 友哉	4.10	9	4.10	19	坂野 遙	6.08	4	21.08
2	三宅 敦士	6.12	9	6.12	20	山田 心美	3.55	3	21.55
3	赤星 志得	8.03	9	8.03	21	高島周太郎	10.00	5	22.00
4	依田 晴貴	3.42	7	9.42	22	矢野康太郎	7.34	4	22.34
5	前田隆之介	3.58	7	9.58	23	中原 遙斗	9.14	3	27.14
6	松本 夢叶	8.21	8	11.21	24	矢崎 樹里	9.14	3	27.14
7	中島 恭也	8.51	8	11.51	25	武田 悠佑	7.59	2	28.59
8	岡崎 慎平	9.14	8	12.14	26	濱井 優音	8.01	2	29.01
9	名倉 湧希	6.48	7	12.48	27	渡邊 謙信	8.46	2	29.46
10	濱野 葵央	7.23	7	13.23	28	奥村 彰絃	9.09	2	30.09
11	北村 透真	4.30	6	13.30	29	志村 彬	9.12	2	30.12
12	合田光太郎	5.04	6	14.04	30	松田 雄介	9.20	1	33.20
13	依田 千奈	9.15	7	15.15	31	内田 京花	6.54	0	33.54
14	田中 俊作	3.22	5	15.22	32	依田 達貴	7.37	0	34.37
15	福井 秀脚	7.13	6	16.13	33	はせへたくみ	9.10	0	36.10
16	片桐帆乃美	8.33	6	17.33	34	坂本幸太郎	9.14	0	36.14
17	津田 憲利	8.55	6	17.55	35	市川 歩夢	9.18	0	36.18
18	横山 湊	9.11	6	18.11	36	有村 陽大	10.00	0	37.00

男女一般決勝(平9,玉6=15粒)

順位	氏名	成績			総合成績	
		時間	平玉	採取粒		
1	遠藤 準也	8.18	7	6	13	14.18
2	桑形 和樹	11.40	8	6	14	14.40
3	宇野 慎介	9.42	8	5	13	15.42
4	長谷部吉昭	8.56	6	6	12	17.56
5	戸田 智仁	9.23	6	4	10	24.23
6	近藤 直美	11.55	6	4	10	26.55
7	稲田 孟	6.02	5	1	6	33.02
8	仁木 創太	10.23	4	3	7	34.23
9	江藤 憲一	10.34	2	4	6	37.34
10	内藤 秀明	7.33	1	2	3	43.33



第13回 化学実験教室

8月1日(日)

みやもん先生こと開成学園の宮本一弘先生が、化学の不思議をわかりやすく、楽しく教えてくれる化学実験教室。感染症対策を施し、通常時よりも定員を抑えた開催となりましたが、今年も大好評でした。冷却パックづくりや振り子の実験、スプーンの音を聞いて空気の振動を知ったり、酸性・アルカリ性の仕組みを利用した色変化を観察したり、いずれも家にある身近なものでチャレンジできる、3コマ6実験が用意されていました。家で自分で再チャレンジできることも、宮本先生の実験教室の人気の秘密です。今回も町内外からご参加いただき、体験

の実験を通して化学を学ぶ楽しさ、驚きや興味関心を深める良い機会となったことでしょう。

保護者の皆さんからのアンケートでは「小さな子どもにも分かりやすく、私たち自身もよく理解できる説明だった」、「家にあるものでできる実験で、とても楽しかった」などの感想が寄せられました。子どもたちは「またやりたい!」、「使っているものは単純なのに不思議で楽しかった」と目を輝かせていました。講師の宮本先生も「これをきっかけに化学を好きになってくれたら嬉しい」と笑顔で語っていただきました。



感染拡大防止措置発出による臨時休館

山梨県からの感染症再拡大による臨時特別協力要請により「激烈☆おやこ金山探険隊」の前日から臨時休館となり、今年もまた静かな夏となりました。探険隊は2年連続の事業中止と

8月10日(火)～9月12日(日)

なり、同時に臨時休館期間に入りましたが、その間、常設展示の補強や、休館明けの写真展準備など、前向きに再開を目指した1か月間でした。

写真展「下部温泉今昔ものがたり」

9月13日(月)～10月31日(日)

8月29日(日)に、中部横断自動車道が山梨～静岡間が全線開通したことを記念して、下部温泉郷の現在と過去を写真で振り返るパネル写真展「下部温泉今昔ものがたり」を、臨時休館が明けた9月13日(月)からエントランス壁面にて開催いたしました。同時に、3町村合併記念日が9月13日であることもあり、毎年開催している「町民ウィーク」にも合わせた開催となりました。

今回は、写真を通して温泉郷の歴史を広く知ってもらおうと、下部区・下部公民館のみなさんが企画した「下部温泉郷写真展」第1弾と第2弾を受け、博物館テイストとしてその風景や景色に対する詳細な解説や考察を加え、全部



で70点ほどの写真や資料などを多々織り交ぜ、改めて開催したものです。皆さんの関心が高く、地元新聞やテレビニュースでも取り上げられ、期間中町内外から多くの方にお運びいただきました。

コロナ禍のこんな時こそ みんなに元気と笑顔を！
もーん父さん 博物館PRに大活躍！これからも よろしくだもーん☆



みんなと一緒に
GETした大事な賞状は
エントランス掲示して
るんだもーん☆

ミュージアムキャラクター
アワード2021

第2位

みなさま たくさんの あたたかい応援
ありがとうございました！

ミュージアムキャラクターアワード2021

7月27日(火)～9月9日(木)

キャラクターを通して博物館を知ってもらい、足を運ぶきっかけにしていきたいという目的のもと2010年から開催されている博物館キャラクターの総選挙「ミュージアムキャラクターアワード」。全国各地の博物館から70キャラという歴代最多数がエントリー。もーん父さんが堂々の第2位（総得票数11,886票）に輝きました！一時は1位になるほどの接戦でしたが一歩及ばず、しかし大躍進を遂げることができました。ありがとうございました。

投票期間中は、町民や山梨県民の皆さまをはじめ、全国の皆さまからのたくさんの温かいメッセージと応援をいただき、もーん父さんや当館スタッフにとって大きなパワーの源となりました。もし来年もアワードが開催されたなら今度こそ1位を目指したいところですので、再び応援をよろしくお願いいたします。

1位		めいじろう (明治大学博物館) 明治大学博物館 14,049票 東京都
2位		もーん父さん (甲斐奥倉村・奥之妻金山博物館) 甲斐奥倉村・奥之妻金山博物館 11,886票 山梨県
3位		ヒロック (広徳大学総合博物館) 広徳大学総合博物館 9,947票 山梨県

ニコニコ動画 ニコニコネット町会議2021

8月14日(土)



臨時休館中の8月14日(土)、ニコニコ動画オンライン配信で、各自治体や施設の魅力を発信する「リモート町中継」というコーナーに出演。約10分の持ち時間の中で「学んで遊べる金山博物館」の魅力を、砂金採り体験室の楽しさと共に紹介させていただきました。ここでも、もーん父さんが随所で大活躍し、博物館の魅力も十分に伝わったようでした。

ニコニコ動画のオンライン配信は今年2回目ですが、コロナ禍だからこそ場所や時間を問わず、多くの方に博物館を知ってもらえる良い機会となりました。

FM富士「メイドイン山梨」&NNS「ジモラブ」でもーん父さん特集！



キャラクターアワード全国2位で注目を集めたもーん父さん、9月22日(水)のラジオ・FM富士「Bumpy」の「メイドインやまなし」のコーナーで取り上げていただき、誕生エピソードから日常生活等々、もーん父さんの魅力をラジオ電波に乗せて広くお伝えすることができました。

また、ケーブルテレビNNS（日本ネットワークサービス）の10月からの新番組「ジモラブ」番組内でも「もーん父さん」特集が生まれ、10月24日(日)～30日(土)までの1週間、もーん父さんのかわいさと魅力をたっぷり伝えていただく素敵な映像が放送されました。

これからも、もーん父さんと博物館が愛され、盛り上がっていくようスタッフ一同、頑張っていますので引き続きの応援をよろしくお願いいたします。

日本砂金地図 完成間近！～博物館応援団AU会×湯之奥金山博物館～

臨時休館中に、バージョンアップに向けて取り組んだ展示があります。当館ならではの甲州金展示と並ぶ目玉展示として、多くの皆様の興味を引く「日本砂金地図」が、また一步完成に近づきました。博物館応援団AU会の、特に砂金掘りを趣味とされる方々のご協力のおかげで、残すは千葉県と香川県の2か所まで迫っていましたが、さらなる皆様の努力と根性のおかげで、香川県のサンプルが博物館に届き、なんとラスト1か所、千葉県のみとなりました。

来年開館25周年を迎える当館のメモリアルイヤーに向けて頑張ってくれている皆様、本当にありがとうございます。博物館応援団・砂金掘り友の会の皆さんの熱意で収集された北は北海道、南は九州・沖縄までのこれらの砂金。当館だからこそその展示です。

博物館としては、掘り師の皆さんの採集にかける思いと努力を、こうして常設展示で公開していくことで、感謝の意をお伝えさせていただきます。

「日本砂金地図」展示は壮観です。ぜひご来館の際にはご覧ください。



『考古学研究』 270号刊行の紹介& 資源素材学会2021秋季大会発表

鉾山遺跡は考古学の世界では古いようで実は意外と新しく今なお研究途上の分野です。このほど『考古学研究』に萩原三雄先生の鉾山遺跡について総括いただく中で、若杉山辰砂採掘遺跡(徳島県・向井公則氏)、多田銀銅山遺跡(兵庫県・青木美香氏)、甲斐金山遺跡(小松)が3つの採掘遺跡の課題と現状について分担執筆し報告する機会を得て、このほど刊行の運びとなりました。主要鉾山遺跡の分布図も入り、コンパクトにまとめられ、興味をもってくれる方が出てくるのが期待されます。

また、9月16日(木)には資源素材学会のリモート発表があり、小松学芸員が「門西家文書の再検証」と題し古文書からみる湯之奥金山の最盛期と終焉について発表し、



伊藤佳世学芸員が、先日の土肥金山調査の報告と遺構の現状について発表しました。特に伊藤学芸員にとっては初めての学会発表でもあり緊張もありました。学術と遊び心を合わせ持った魅力ある今後の博物館づくりに、これらの経験を活かしていけるよう精進して参ります。



編集後記

砂金掘り大会をはじめ、全てのイベントが中止となったわけではないことが幸いでしたが、書き入れ時が臨時休館となり、セミの声が一層大きく響く静かな夏でした。しかし、いつの間にか季節は巡り、すっかり秋も深まり、高い山には積雪もみられるようになりました。夏の報告・秋のお知らせが遅くなってしまいました。館日より97号をお届けします。次の号ではもうお正月のお知らせをする頃。少々落ち着いたようにも見える感染症の再拡大が起きないよう、気を緩めずしっかり過ごしていきたいですね。

博物館だより

第97号 令和3年10月31日

〒409-2947 山梨県南巨摩郡身延町上之平1787番地先

TEL 0556-36-0015 FAX 0556-36-0003

博物館HPアドレス <https://www.town.minobu.lg.jp/kinzan/>

博物館Eメール yunoking@town.minobu.lg.jp もーん父さん  